



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」及び
「宇都宮市DX実現タスク」について

令和5年2月21日

デジタルを活かして共に創る，まちの未来！！

～スーパースマートシティの原動力「デジタル」の

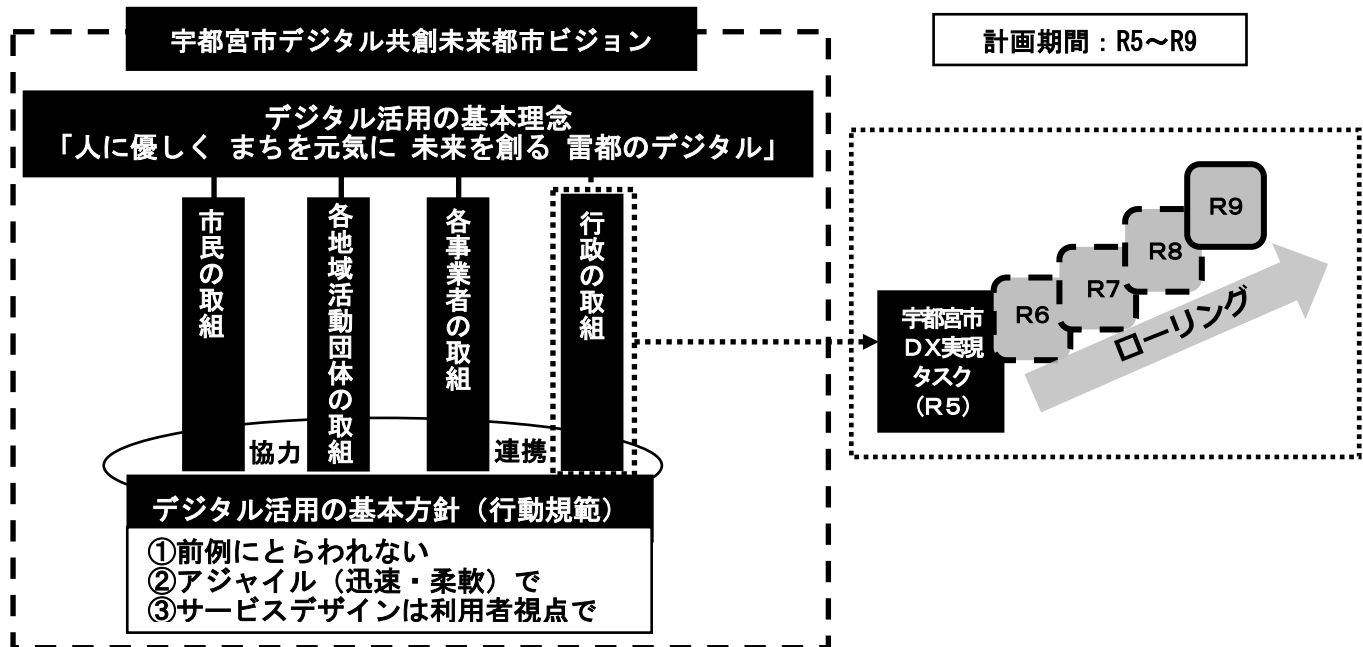
取組をまとめた「ビジョン」・「タスク」を策定～

本市の目指す「スーパースマートシティ」の実現に向け、その原動力となる「デジタル」を効果的に活用し、地域社会全体のデジタル化を推進していくための「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」と、ビジョンに基づき、行政（市役所）として取り組んでいくデジタル施策をまとめた「宇都宮市DX実現タスク」を策定しました。

1 計画の特徴

(1) 市民・地域活動団体・事業者・行政等の「共創」によるデジタル化の推進

ビジョンにおいては、地域を構成する市民・地域活動団体・事業者・行政等の各主体が本市のより良い未来を共創（協力・連携しながらデジタル化に取り組むこと）していくための「デジタル活用の基本理念」と、各主体が共通の価値観をもって取り組めるよう「デジタル活用の基本方針（行動規範）」を掲げた。



裏面あり

<問い合わせ先>

総合政策部スーパースマートシティ推進室 室長 早川 光夫(028-632-2279)

行政経営部経営管理課 課長 荒木 義行(028-632-2044)



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動

 住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

(2) スーパースマートシティの実現に貢献する取組の明示

ビジョンにおいては、スーパースマートシティを構成する「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」、「まちの基盤 NCC」の実現に向けて、それらに貢献する「概ね5年後までに実装を目指す取組」を明示した。

概ね5年後までに実装を目指す取組(主なもの)			
「地域共生社会」に貢献するデジタル	「地域経済循環社会」に貢献するデジタル	「脱炭素社会」に貢献するデジタル	「まちの基盤 NCC」に貢献するデジタル
・オンライン空間(メタバース等)を活用した新たな「居場所」づくり など	・地域経済の循環に資するデジタル地域通貨等の取組 など	・AI等を活用したエネルギー管理システム等の構築 など	・3D都市モデルやセンシング技術等を活用した取組 など
(横断的・共通の取組)			
デジタル人材の育成・確保		戦略的なデータの利活用	
・外部人材の効果的な活用 など		・官民のデータを連携する都市OS等の実証 など	

(3) 行政(市役所)のDXを実現する戦略的な取組の推進

タスクにおいては、行政のDX実現に向けて欠かすことのできないすべての取組を重点取組事項とし、行政が変革する「姿」、職員の行動につながる明確な「KPI」の設定により、戦略的に推進していく。

主な重点取組事項 【新規・拡充】主な事業	KPI	R9 目標値 (R4)
デジタル社会基盤の強化 【新規】民間施設等におけるマイナンバーカード申請サポートの実施 【新規】LRT 沿線等における多機能型デジタルサイネージの設置促進	マイナンバーカード普及率	100% (56%)
スマート窓口の推進 【拡充】電子申請共通システムのキャッシュレス決済機能等の拡充 【新規】マイナンバーカード等を活用した「書かない窓口システム」の導入	行政手続オンライン化数	500 手続 (100 手続)
デジタルデバйд対策・デジタル人材育成 【新規】身近な地域でスマートフォンの使い方等をサポートする「宮デジタルサポーター」の養成	宮デジタルサポーター養成人数	120 人 (0 人)
庁内デジタル人材の育成・確保 【新規】全庁的な DX 実現に向けた CIO 補佐官の任用 【新規】kintone を活用した人材の発掘・育成	ローコード・ノーコード開発ができる職員数	300 人 (30 人)
業務のプロセス変革 【新規】水道管路 AI 劣化診断業務の実施 【拡充】庁内における AI・RPA などデジタルツールの活用・拡充	AI・RPA 活用業務数	120 業務 (20 業務)

2 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間

宇都宮市DX実現タスク

Digital transformation

概要版

令和5年（2023年）2月

「DX実現タスク」の位置づけ

- 本タスクは、国の『自治体DX推進計画』に基づいて、地方公共団体が地域のDX実現に向けて策定する「全体方針（ビジョン・工程表）」のうち、本市のDXの取組を総合的かつ効果的に実施していくための「工程表」に位置づけられるものです
- 本タスクの策定にあたっては、特に、地方自治体として取り組むべき事項が明示された「自治体DX推進計画」「デジタル・ガバメント実行計画」「デジタル田園都市国家構想」の内容を踏まえるとともに、「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」を通じて、本市の将来像を描いた『第6次宇都宮市総合計画（後期基本計画）』との整合を図ります



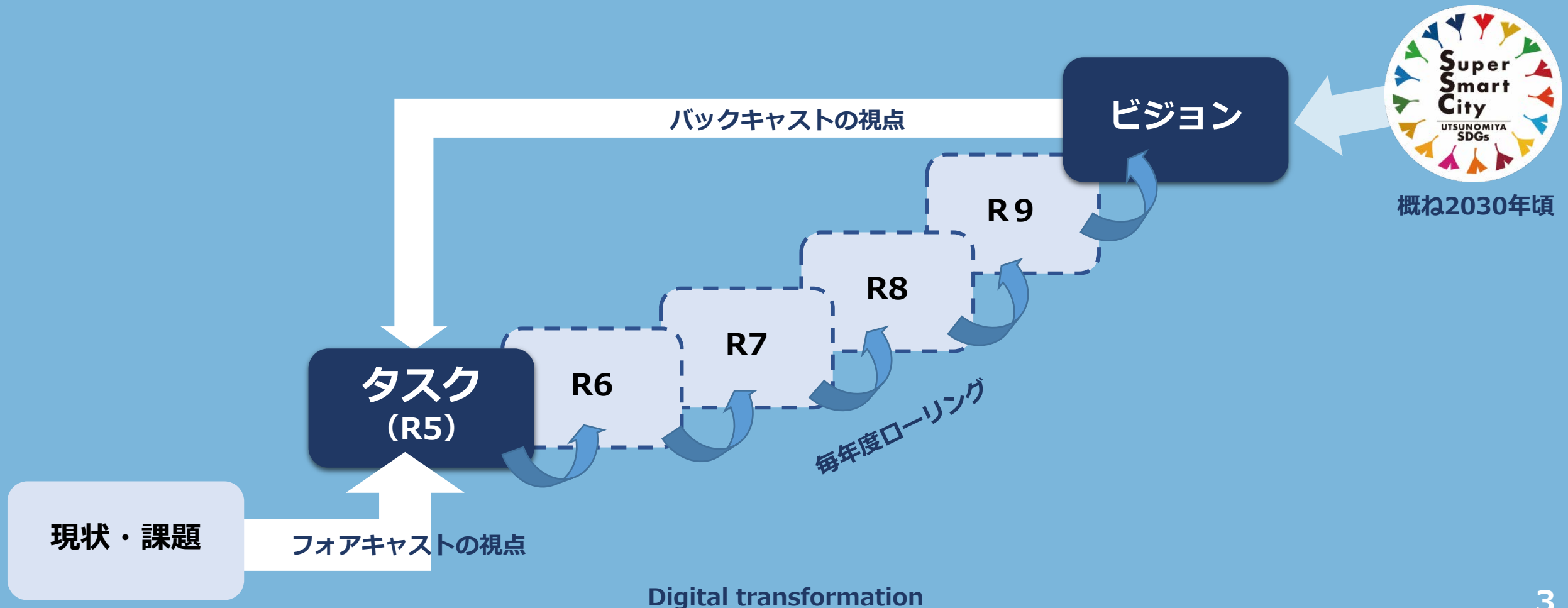
「DX実現タスク」の目的

- 本タスクは、これまでの「計画的なICT利活用の促進」の観点から大きく転換し、既成概念の打破や新たな価値の創造を伴う「DX（デジタル・トランスフォーメーション）の実現」に向けた取組を戦略的に推進するために策定するものです
- 本タスクに沿ったDXの取組の推進により、本市職員の認識・意識・考え方・行動や、組織文化が根本的に変わることを目指します



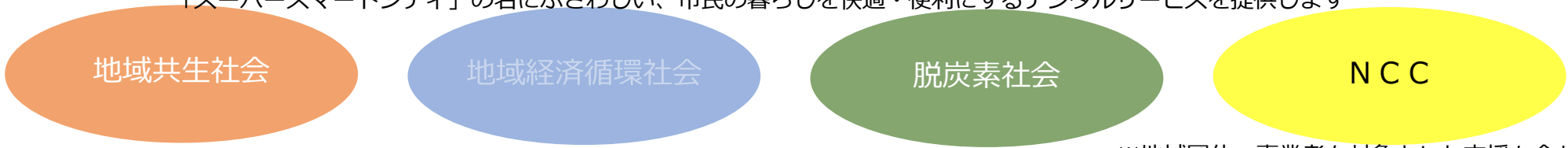
「DX実現タスク」の特徴

- 現状・課題を踏まえた「フォアキャストの視点」を踏まえたDXを実現
- ビジョンの達成に向けた「バックキャストの視点」から新たな取組を推進
- 日々進展するデジタル技術を採用するために毎年度ローリング



重点取組事項

サービス、手続・業務、人、環境のすべての要素におけるDXの実現

	市民視点 (サービスデザインは市民視点で！)	行政視点 (前例にとらわれず、柔軟・迅速に！)
サービス	① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等 (※) 「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します  ※地域団体・事業者を対象とした支援も含む	
手続・業務	② スマート窓口の実現 すべての市民が、意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続が完結する窓口を実現します	⑤ 業務のデジタル変革 紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用によりデジタルを前提とした業務の在り方への大転換を図ります
人	③ デジタルデバイル対策・デジタル人材育成 市民がデジタルリテラシーを身に付け、デジタルを活用できるようにすることや、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします	⑥ 庁内DX人材の育成・確保 全職員のデジタルリテラシーを底上げし、専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します
環境	④ デジタル社会基盤の強化 マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境など、ハード・ソフトのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします	⑦ スマートワークの実現 執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用して、いつでも・どこでも職員の能力が最大限に発揮される環境を整備します

⑧ データの利活用

重点取組事項 ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域共生社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

KPI：デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合

R4 46.8% ⇒ R9 66.0%

●：フォアキャストの取組, ◎：バックキャストの取組

ビジョン	R5施策・事業名（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
支え会える社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルを活用した検索システムによる認知症になっても安心して暮らせる環境整備 ● 「デジタル適応支援教室」による誰一人取り残さない教育の推進 ● SNSを活用したオンラインサロンの開設 ● 重層的支援体制におけるリモート会議の活用 <p>◎ オンライン空間を活用した新たな「居場所」づくり</p>			実施		
健康で自分らしい生活ができる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「健康ポイント」を活用した「自然と健康になれるまちづくり」の推進 ● オンライン講座（健康講座等）の実施 ● 医療・介護等のデータ分析による健康づくりや社会課題解決に向けた事業の立案 			実施		
誰もが時間の制約なくサービスを利用できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 市公式LINE「教えてミヤリー」によるAI自動応答サービスの提供 ● 子育て支援アプリによる母子健康保健サービスの提供 <p>◎ スマートフォンアプリ等による一元的にサービスを提供する仕組みの検討</p>	アプリ統合の検討		統合型アプリの導入・運用	アプリの順次集約	ポイントの一元化も併せて検討
地域で学び活発に活動できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「うつのみやデジタルスクエア」を通じた地域団体の運営支援 ● スマートフォンアプリを活用したまちづくり活動応援事業 ● 魅力ある自治会づくり支援事業補助金 			実施		
デジタルに不慣れな人にも優しい社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援 ● 広報紙を活用したデジタルデバイド対策の推進 <p>◎ デジタル機器を操作しなくともデジタルの恩恵を受けられる環境づくり</p>			実施	高度な知識なくデジタルの恩恵を受けられる環境づくりの検討	実証⇒実装

重点取組事項 ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域経済循環社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

K P I : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
R 4 46.8%	⇒	R 9 66.0%

ビジョン	R 5 施策・事業名 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
新たなイノベーション等を創出できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●イノベーション推進事業 ●新産業創出支援事業補助金 ◎地域経済の循環に資するデジタル地域通貨等の検討 	実施				
		デジタル地域通貨等のスキームの検討	実証⇒実装			
全ての事業者がDXを推進できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「うつのみやデジタルスクエア」の事業者への拡張 ●労働生産性の向上に向けたデジタル化促進 ●ECサイトを活用した宇都宮産農産物PR・販路拡大促進 ●中小企業や農林業事業者のICT導入・活用に対する支援 ●中小企業等に対するデジタル活用セミナーの開催 ◎サブスクリプション型などのサービスの導入支援の検討 	実施				
		サブスクリプション等のサービス導入支援の検討	実証⇒実装			
来訪者等の利便性等が向上する社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルマーケティングによる誘客・周遊促進 ●観光拠点等におけるデジタルサイネージを活用した観光情報の発信 ●デジタルマップの活用による観光周遊促進 ◎オンライン空間を活用した戦略的観光の推進 	実施				
		オンライン空間を活用した施策の検討	実証⇒実装			
都市ブランドが高められる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●史跡等文化資源のVRによる再現・公開 ●歴史文化資源のデジタル化による再現・公開 ●先進技術を活用したスポーツイベントの映像配信 ◎文化芸術分野におけるデジタルツイン等の活用 	実施				
		デジタルツイン等を活用した施策事業の検討	実証⇒実装			

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

脱炭素社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

KPI : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合

R4 46.8%	⇒	R9 66.0%
-------------	---	-------------

ビジョン	R5施策・事業名（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
再生可能エネルギーの導入と活用が進む社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内の再生可能エネルギーの利活用の推進 ● スポーツ施設等の脱炭素化に向けたデジタル技術の活用 ◎ 「エネルギーマネジメント」による再エネ利用の最適化 ◎ IoTを活用した分散型エネルギーの最適化 ◎ EVモビリティ等の導入支援 					
		<p>エネルギーの最適化やEVモビリティ等の導入に向けた各施策の検討</p> <p>実施</p> <p>実証⇒実装</p>				
エコで便利なライフスタイル等が定着する社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮行動の促進に向けたポイント事業 ● デジタル公文書の推進（歴史公文書システム） ● SNSなどデジタルを活用した戦略的な広報 ● 電子図書館システムを活用した電子図書館の推進 ◎ スマートワーク・スマートオフィス化の推進 					
		<p>実施</p> <p>スマートワーク・スマートオフィスの実装</p>				

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

まちの基盤NCCに貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

K P I : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
R 4 4 6.8%	⇒	R 9 6 6.0%

ビジョン	R 5 施策・事業名 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
誰もが円滑に移動できる交通環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● L R T 沿線まちづくりにおけるICT等の先進技術の活用 ● デジタルを活用したシェアサイクル等の実証実験 ● 交通ICカード「totra」のサービス拡大（路線バス、地域内交通） ◎ 公共交通における自動運転技術の実装に向けた環境づくり 	実施				
		自動運転技術の実装に向けた支援施策等の検討		実証⇒実装		
市民等の利便性や快適性が向上する都市基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通結節点におけるデジタルサイネージ等を活用した効果的な情報発信 ● 観光拠点や交通結節点へのWi-Fi環境の整備 	実施				
安全・安心に暮らすことができる都市基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● リモートセンシング技術を活用したまちづくりの推進 ● 上下水道の効率的な維持管理に向けたAI技術等の活用 ● 溢水被害等への遠隔監視システムの導入・導入支援 ● 災害やインフラ等の保守点検へのドローンの活用 ◎ 人工衛星等を活用したインフラの管理 ◎ AIカメラ等を活用した安全・安心なまちづくりに向けた実証 ◎ デジタルツイン（3D都市モデル）を活用した防災シミュレーション 	実施				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口衛星等を活用したインフラ管理の検討 ・ AIカメラやデジタルツイン等の活用に係る各施策のスキームの検討 		実証⇒実装		

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ②スマート窓口の実現

すべての市民が、意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続きが完結する窓口を実現します

■ KPI

行政手続オンライン化数
(規制のない手続)



	取組内容 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
行政手続オンライン化の加速	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナポータル・電子申請共通システムによる行政手続のオンライン化 ●行政手続の規制（押印・書面・対面）の見直しの推進 ●市税等の各種公金のオンライン納付 ●新たな公共施設予約・案内システムの導入 	全行政手続のオンライン化推進				
		優先的にオンライン化すべき手続への対応				
		規制見直し・業務見直し				
		オンライン決済化 基幹系システム等とのエンドツーエンド接続				
窓口サービスのDX推進	<ul style="list-style-type: none"> ●書かない窓口システムの導入 ●窓口での大型モニター・タブレット端末等による情報提供 ●混雑状況緩和に向けた情報提供・案内システムの導入 ●行政窓口におけるキャッシュレスサービスの拡充 ●多言語翻訳サービスの提供 	窓口へのデジタルツールの導入推進				
		デジタルツールの導入 書かない窓口の基幹系システム接続				
		窓口レイアウトの見直し				

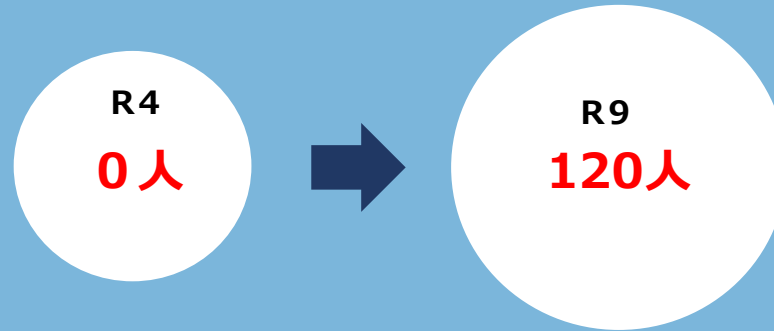
● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ③デジタルデバイド対策・デジタル人材育成

市民がデジタルリテラシーを身に付け、デジタルを活用できるようにし、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします

■ KPI

宮デジサポーター養成人数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
市民のデジタルリテラシー向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に対する情報セキュリティの周知・啓発 ●「うつのみやデジタルスクエア」を通じたデジタルリテラシーの啓発 ●デジタルスキル習得を通じた就労支援 ●GIGAスクールの推進 					
		実施				
デジタルデバイド対策	<ul style="list-style-type: none"> ●「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援〈再掲〉 ●広報紙などを活用したデジタルデバイド対策〈再掲〉 ●デジタルデバイド対策にかかる各種講座等の開催 					
		実施				

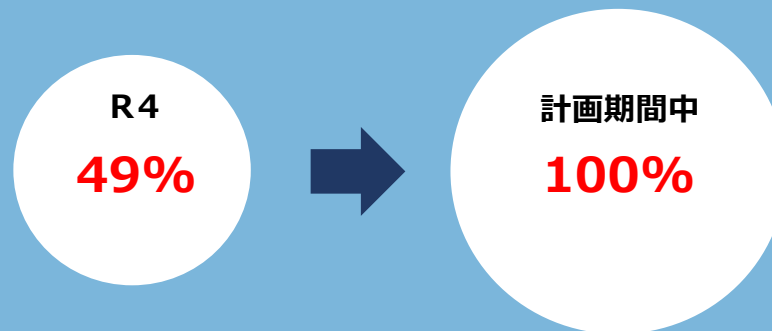
●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

重点取組事項 ④デジタル社会基盤の強化

マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境などのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします

■ KPI

マイナンバーカード普及率



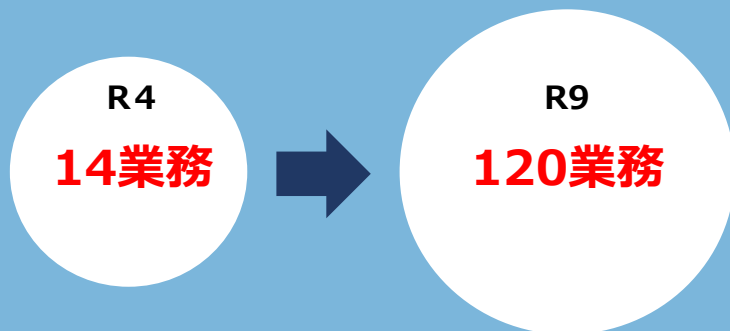
	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
デジタルインフラの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードの普及促進 ●5G基地局整備にかかる市有施設等の貸出および受付 					
新たなデジタル活用基盤の構築	◎本市ポイント事業の一元化の検討（デジタル地域通貨を含める）					

●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

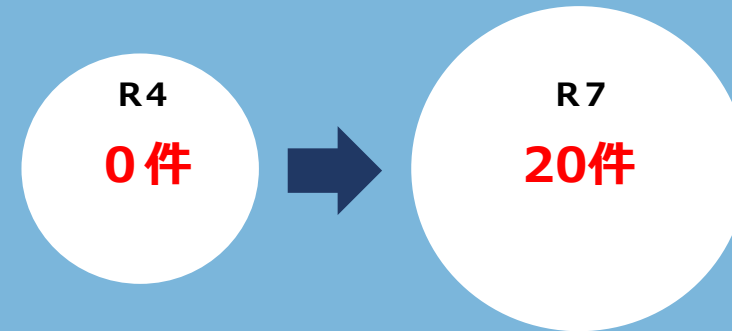
重点取組事項 ⑤業務のデジタル変革

紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用により、デジタルを前提とした業務の在り方への転換を図ります

■ KPI
AI/RPA
活用業務数



■ KPI
標準化共通化
対応システム数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
業務におけるデジタルツールの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● AIを活用した業務効率化の推進 ● RPAの導入を通じた業務プロセス改善の推進 ● 共通事務を効率化するデジタルツールの活用促進 ● ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 	AI・RPA等の利活用推進				
		ノーコード・ローコードツールの導入・運用		新たな共通事務会改善ツールを順次、導入		
情報システムの最適化・クラウド化	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体情報システムのシステム標準化・共通化・クラウド化 ● クラウド型業務システムの活用 	システム標準化・共通化				
		国が示す標準仕様書への適合				
		ガバクラへの移行検討				

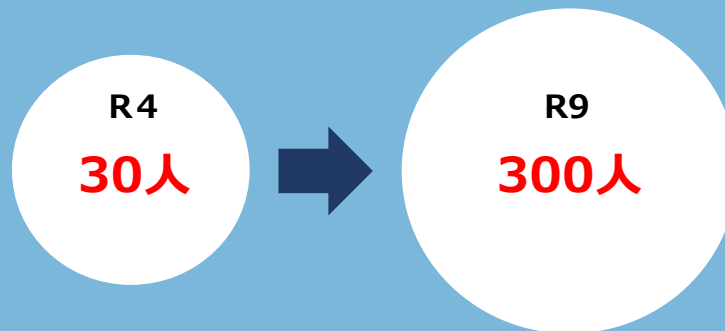
● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ⑥庁内DX人材の育成・確保

全職員のデジタルリテラシーを底上げし、
専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します

■ KPI

ローコード・ノーコード開発
ができる職員数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
職員のDXリテラシー向上	<ul style="list-style-type: none"> ●DX推進部門におけるDX人材の発掘・育成 ●ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 ●全職員のデジタルリテラシーの底上げ ●情報セキュリティ対策の推進 		全職員のDX研修の実施			
			DX推進分の人材発掘・育成			
外部デジタル専門家等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●CIO補佐官の任用 ●デジタル専門家などの外部ノウハウの積極的な活用 	CIO補佐官 試用任用	CIO補佐官の任用			

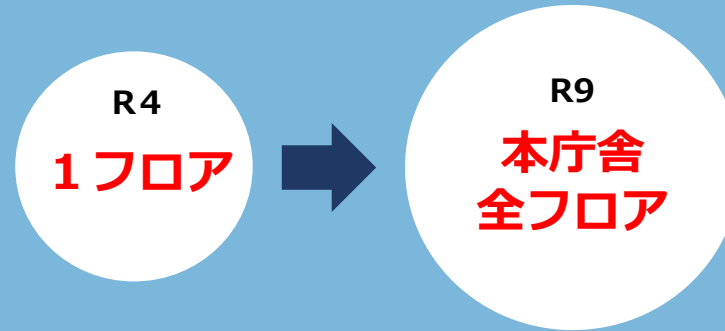
●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

重点取組事項 ⑦スマートワークの実現

執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用することで、いつでも・どこでも職員の能力が最大限に発揮される環境を整備します

■ KPI

執務室改善着手フロア数



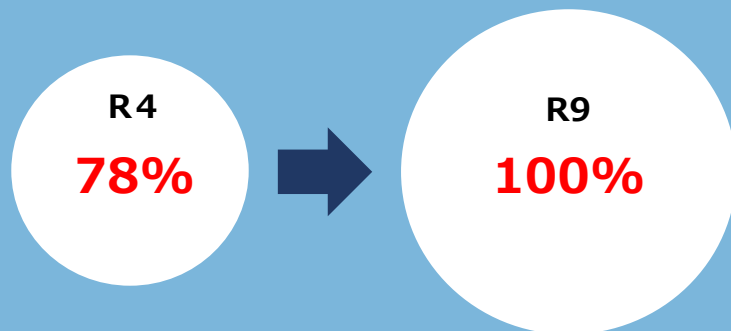
	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
スマートワークを実現するデジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内ネットワークの無線化と職員端末のモバイル化 ● テレワークの推進（遠隔会議・モバイルワーク含む） ● ビジネスチャットツールによる情報共有の円滑化 	無線化				
執務環境の抜本的な改善	● 効率的で多様なワークスタイルを実現する新しいオフィス環境の整備	全端末モバイル化				
		内部管理部門の環境整備				
		窓口部門のレイアウト等の検討	窓口部門の環境整備			

●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

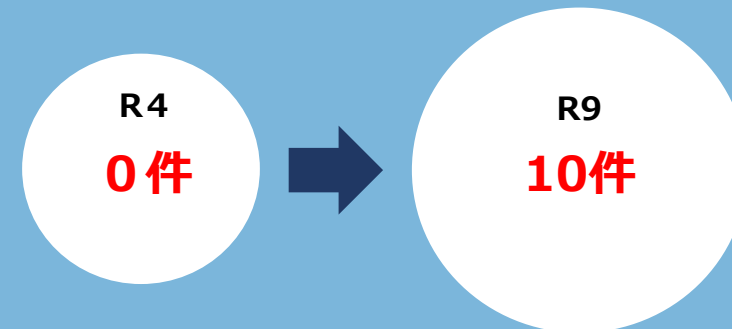
重点取組事項 ⑧データの利活用

さまざまなDX実現の取組から得られるデータを戦略的に「つくり」「整え」、有機的に「つなげる」ことで、行政・民間で共有し「使える」仕組みを構築します

■ KPI
国の推奨
データセット
公開割合



■ KPI
行政課題の解決
に資するデータ
を活用した伴走
型モデル事業数



データをつくる・つなげる・使う	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
		実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇都宮市版データアーキテクチャの構築に向けたモデルアーキテクチャの検討 ● オープンデータの利活用促進の強化 ● スマートシティ実現に向けた人流データ等の収集・分析・活用 ● 3D都市モデルの更新と利活用 ● 市政研究センターの機能強化 ● LRTの整備・運営に関するデータ分析 ● 医療・介護等のデータ分析による健康づくりや社会課題解決に向けた事業の立案 ◎ AIカメラなどのセンシング技術を活用したデータ収集の拡充 	AIカメラやセンシング技術等を活用したデータ収集手法の検討	実証⇒実装			

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

宇都宮市 デジタル共創未来都市ビジョン

概要版

令和5年（2023年）2月

宇都宮市



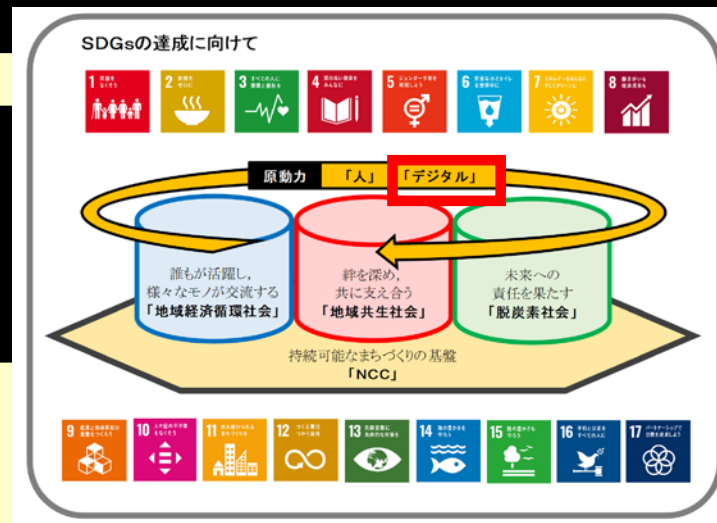
序章 策定の目的

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

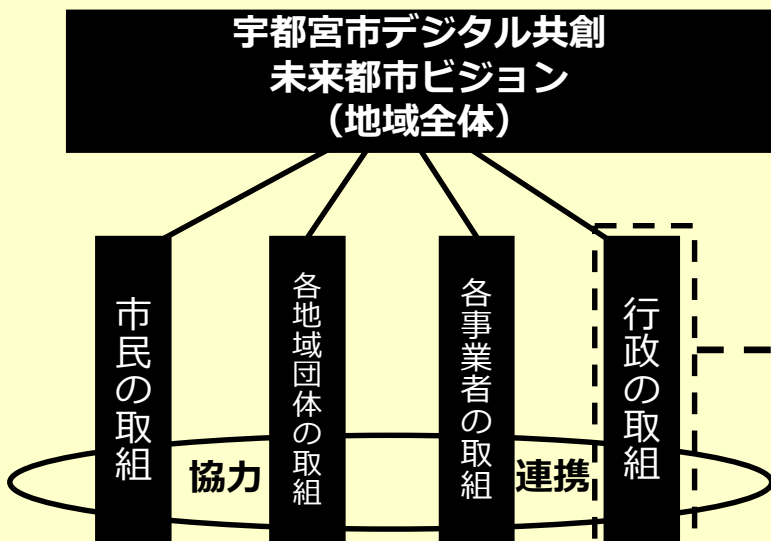
1 策定の背景・目的

「デジタル」は、市民生活の質の向上や多様化・複雑化する地域課題等の解決に資する「鍵(手段)」であるとともに、新しい付加価値を生み出す「源泉」でもあります。今後、より一層「デジタル」を活用し、官民ともにDXの実現を目指すことが求められています。

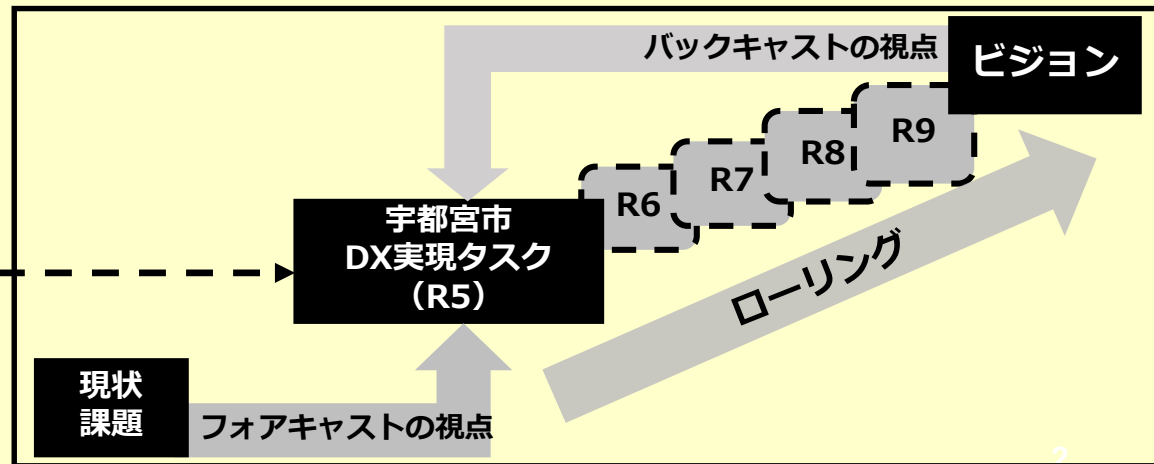
本市の目指す「スーパースマートシティ」の実現に向け、原動力となる「デジタル」を効果的に活用し、地域社会全体のデジタル化を推進していくため、地域の各主体とデジタル活用の理念や方向性を共有する「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」を策定します。



2 位置づけ・期間



【期間：令和5年度から令和9年度までの5年間】





第1章 デジタル化の動向

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

国の動向

デジタル社会形成基本法の制定 (2021年9月)

- デジタル社会の形成に関する基本理念を規定
- 国や地方公共団体及び事業者の役割等を示し、デジタル社会の形成に取り組むことを明記

自治体DX推進計画 (2020年12月策定, 2022年9月改定)

自治体が重点的に取り組むべき事項・内容が提示され、各自治体は、「自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる」こと、「デジタル技術等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく」ことが求められている。

デジタル社会の実現に向けた重点計画の策定 (2021年12月, 2022年6月改定)

- デジタル社会の実現に向けた理念として「誰一人取り残されないデジタル社会の実現」を掲げ、デジタル社会形成のための基本原則等を明記
- 包括的データ戦略の推進等を戦略的な取組に位置付けるなど、重点的に実施すべき取組を提示

デジタル田園都市国家構想の策定

デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず全ての人々がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしの実現を目指した構想

栃木県の動向

とちぎデジタル戦略の策定 (2021年3月)

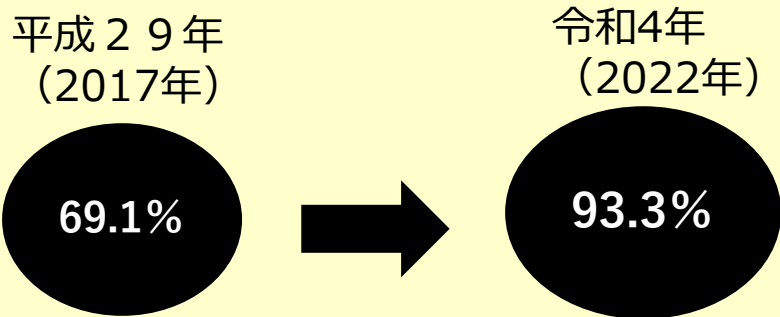
4つの戦略（デジタルで問題を解決する場、デジタル人材の育成など）をもとに、デジタル化の方向性を明記



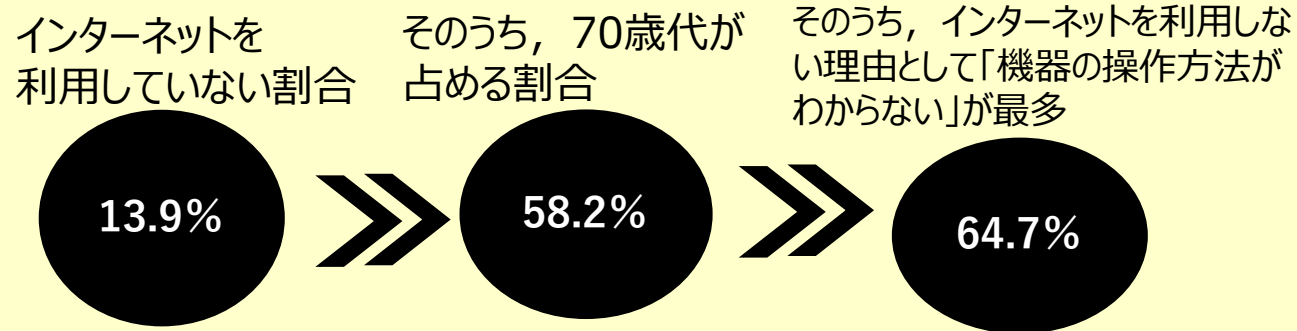
第2章 デジタル化の現状（市民）

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

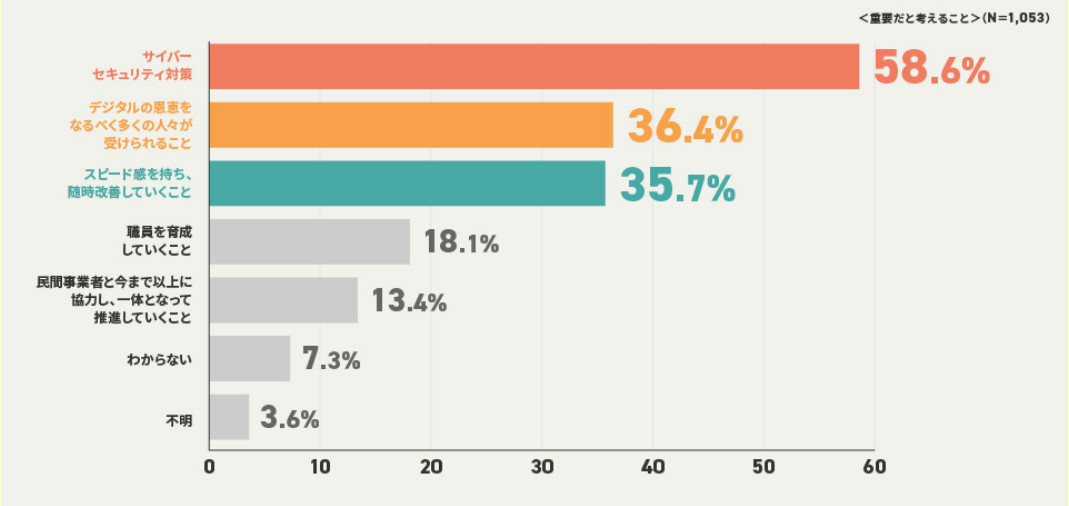
本市における情報通信機器の保有状況



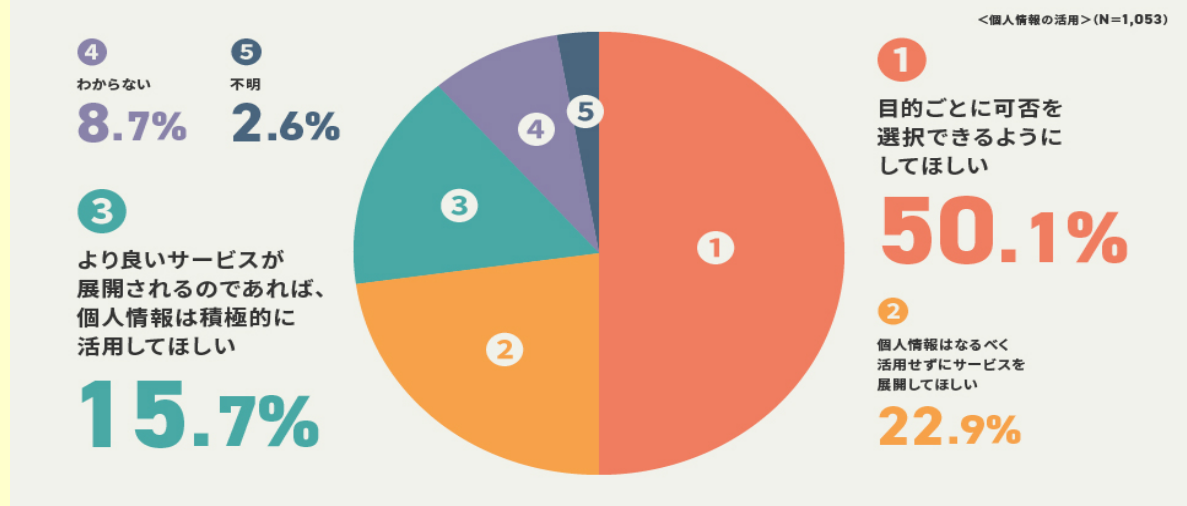
本市におけるインターネットの利用状況



行政がデジタル化を推進していく上で重要と考える事項



行政による個人情報の活用



■スマートフォンの保有割合は全体で9割を超えていますが、高齢者などは、デジタル機器等を活用できていない状況があることから、より多くの人々がデジタルの恩恵を受けられるよう取り組んでいく必要があります。

■進展の早いデジタル化をより一層を推進していくには、セキュリティ対策等に配慮しつつも、アジャイル手法を用いながら、より良いサービス提供に向け、データ等を効果的に活用していく必要があります。

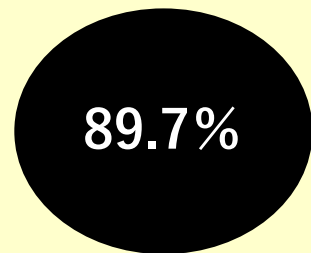


第2章 デジタル化の現状（地域活動団体）

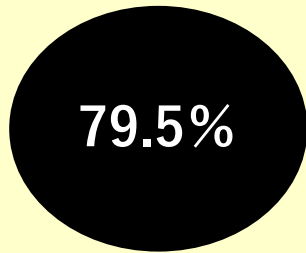
序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

地域活動にデジタルを活用したい意向の有無

【地域まちづくり組織】

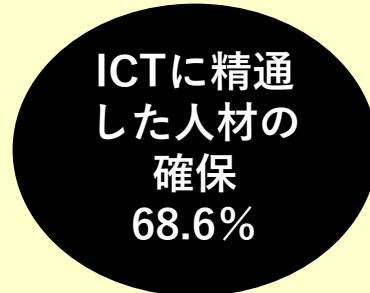


【地区連合自治会】



ICTを活用するに当たっての課題

【地域まちづくり組織】

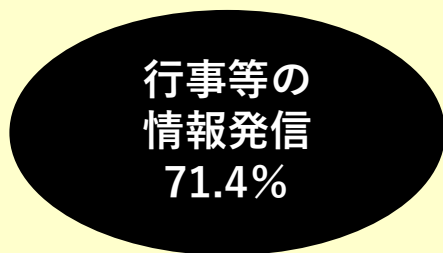
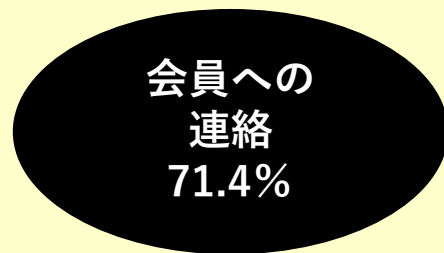


【地区連合自治会】

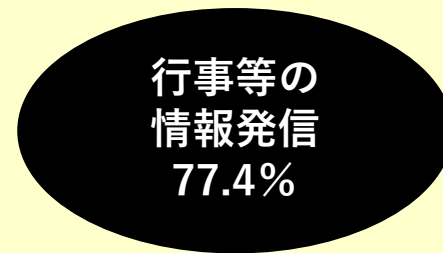
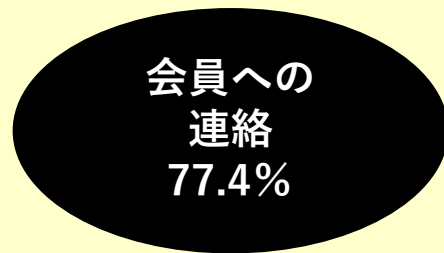


ICTを活用したい活動内容

【地域まちづくり組織】



【地区連合自治会】



■ デジタルを活用し、今の時代に求められる団体運営や活動内容へ転換できるよう、地域活動団体における担い手の確保や役員の負担軽減などの課題解決に取り組んでいく必要があります。

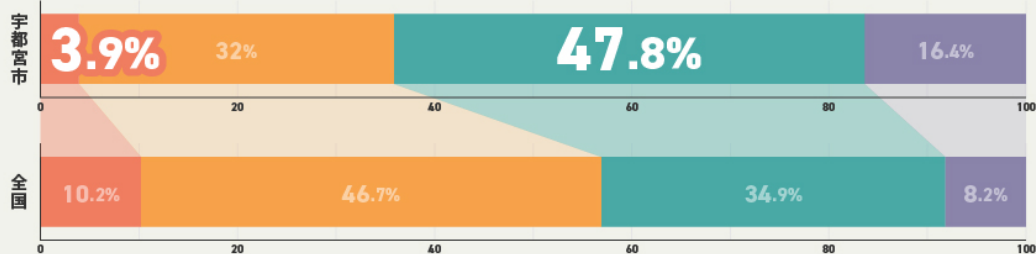


第2章 デジタル化の現状（事業者）

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

本市における事業者のデジタル化の取組段階

全国と比較すると、デジタル化の初期段階の企業の割合が多い。

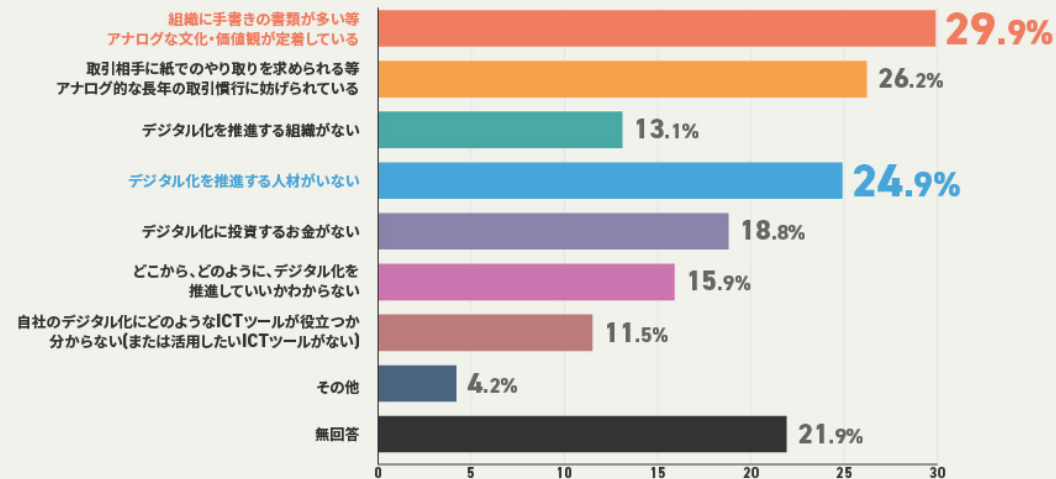


- 段階4 デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態
- 段階3 デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態
- 段階2 アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態
- 段階1 紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態

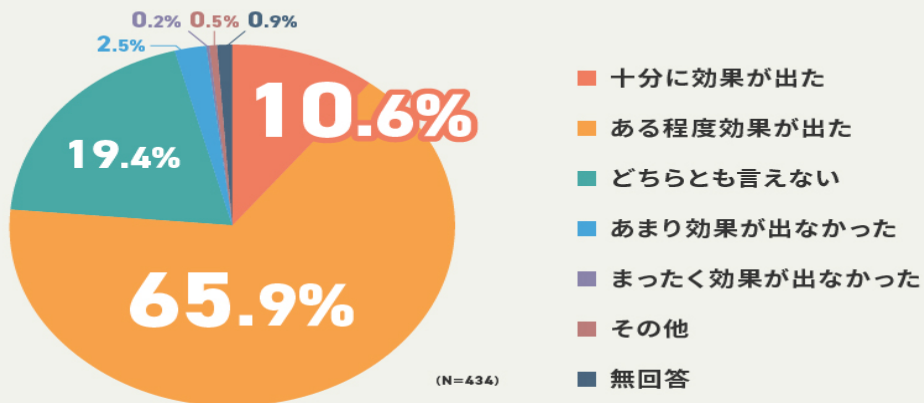
全国の事業者のデジタル化の取組段階 (出典: 中小企業白書2022)

デジタル化推進に当たっての課題

R.04 調査 n=602



デジタル化による効果



■ デジタル化に取り組んでいる中小企業においては、約8割が効果を実感できている状況があることから、事業・経営の継続・発展に向け、デジタルを効果的に活用していく必要があります。

■ また、デジタル化を推進していくに当たっては、これまでの意識を変革し、社内でデジタル活用を実装できるデジタル人材の育成に取り組んでいく必要があります。

※令和4年6月～7月に実施した「宇都宮市中小企業実態調査」から抜粋



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

地域社会全体のデジタル化を進める上での4つの主要な課題

1 DXの推進に向けた環境の構築

- ・ 中小企業や行政機関等において、社会・経済の変化に適切に対応し、事業・経営の継続・発展に向け、デジタル技術を活用した経営改革により生産性の向上等を図っていく必要があります。

- ・ 地域コミュニティにおける活動の維持・活性化や担い手となる人材確保などの課題解決に向け、地域のまちづくり活動等においてもデジタル化を推進していく必要があります。

2 デジタルデバイド対策の強化

年齢や障がい、技術（デジタル機器等への得意、不得意）の有無等により、デジタルを介した格差が生まれないように、人に優しいデジタル化（デジタルデバイド対策）に取り組んでいく必要があります。

3 デジタル人材の活用

デジタル分野の基礎的な能力の向上や、高度なスキルを有する人材の育成など、デジタル人材を効果的に活用できるよう取り組んでいく必要があります。

4 データ利活用とセキュリティ対策の強化

- ・ 事業等の効果の最大化に向け、デジタル化により得られるデータの活用をあらかじめ想定し、戦略的に取り組んでいく必要があります。

- ・ 強固な情報セキュリティ対策の実施や災害時の対応、さらには個人情報等の取扱いを明確化していく必要があります。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

官民の各主体が連携し、市民の誰もがデジタルの恩恵を享受できる環境を構築していくとともに、デジタルを通じてまちの新たな活力を創出するなど、本市のより良い未来(=スーパースマートシティ)を共創していくことを「デジタル活用の基本理念」として定めます。

人に優しく まちを元気に 未来を創る 雷都のデジタル

・『人に優しく』には、デジタルが不慣れな方なども含め、多様なニーズに寄り添い、支え合いながら、デジタルの恩恵を市民一人ひとりに行きわたるようにしていくという意味を込めています。

・『未来を創る』には、市民、事業者、行政等が、それぞれの状態に応じたデジタル化やDXを通じて、地域課題の解決、新たな価値の創出に取り組み、次世代の担い手となる「人」を育成しながら、より良い未来(=スーパースマートシティ)を共創していくという意味を込めています。

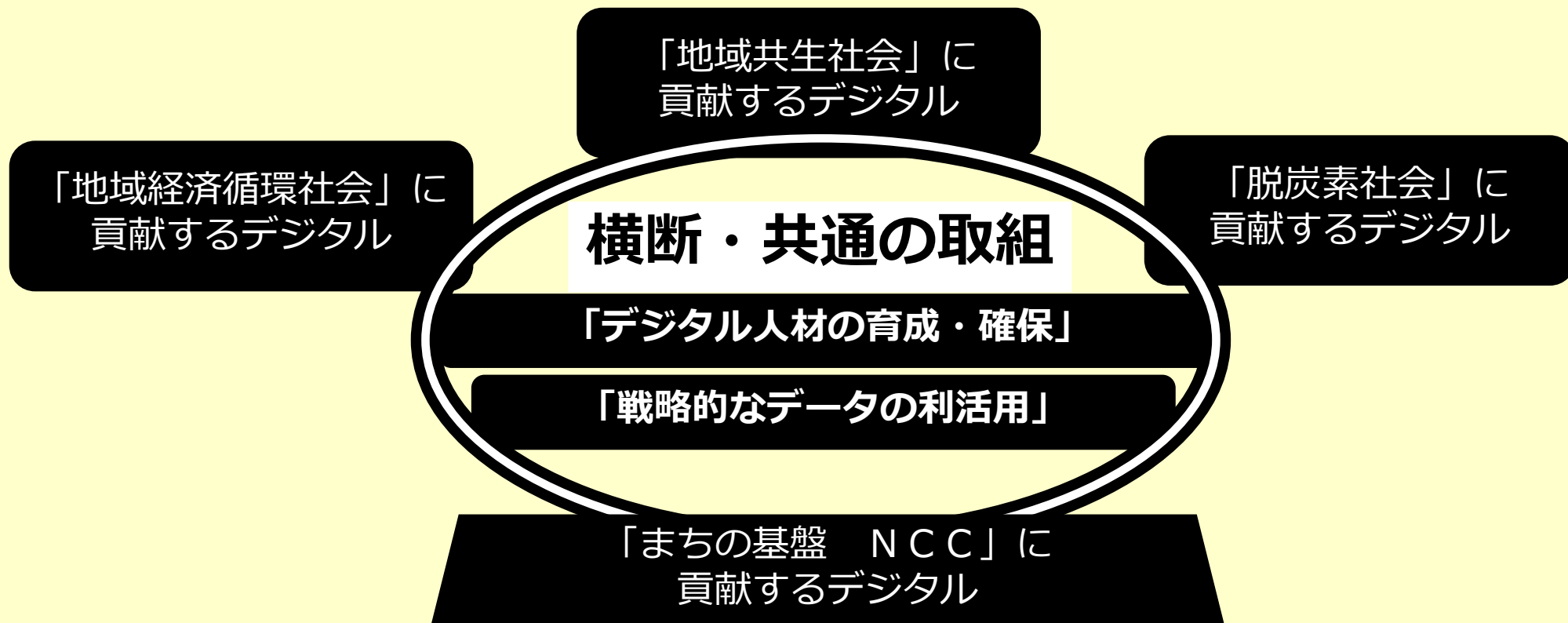
・『まちを元気に』には、事業者や地域活動団体など多様な主体がデジタルを活用し、事業等の効果の最大化を図ることで、まちに新たな「活力」や「魅力」を創出していくという意味を込めています。

・『雷都』には、本市の「気候・風土」と実りを象徴する「雷」に由来する呼び名、そして、LRT(「ライトライン」)の開通やJR宇都宮駅東口地区(「ライトキューブ宇都宮」等)など新たなまちを連想させる「ライト」を用いて、デジタルの活用により新たな生活が始まっていくという意味を込めています。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

「デジタル活用の基本理念」に基づき、本市の目指す「スーパースマートシティ」における「3つの社会」と「NCC」を柱とし、各社会などに貢献すると考えられるデジタル活用の方向性等を示します。

また、あらゆる分野でデジタルを効果的に活用していくためには、それぞれの分野でデジタル化をけん引し、実装・活用することができる「デジタル人材」が必要不可欠であるとともに、デジタル化の進展による多様かつ膨大なデータを新たな価値創造の源泉として捉え、戦略的に利活用していくことがデジタル社会を形成していく上で重要な礎となることから、全分野に共通する「デジタル人材の育成・確保」及び「戦略的なデータの利活用」を『横断・共通の取組』として位置付けます。





序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 「地域共生社会」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

地域共生社会の実現に向け、デジタルデバイド対策等を通じて、個人の属性に関わらず、誰もがつながりを持ち、支え合える環境づくりや、地域のまちづくりを担う地域コミュニティの活性化など、「人」中心の社会にあらゆる側面からデジタルを効果的に活用していきます。

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

地域経済循環社会の実現に向け、地域における魅力や賑わいと「新たな価値」を創出するために、地域経済を支える中小企業等の経営改革による生産性の向上や新たなイノベーションの創出など、デジタルを積極的かつ効果的に活用していきます。

3 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

脱炭素社会の実現に向け、事業活動等における温室効果ガス排出状況の「見える化」やエネルギーマネジメントの「最適化」による省エネ化、日常生活における積極的な公共交通の利用、場所に捉われない多様な働き方の実践などによる排出ガスの削減など、事業活動や日常生活などあらゆる場面でデジタルを効果的に活用していきます。

4 「まちの基盤 N C C」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

まちの基盤となるN C Cの実現に向け、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりや、利便性や快適性の高い公共交通ネットワークの構築、データを活用したまちの最適化など、市民生活の質や都市としての価値・活力を高めるために、デジタルを効果的に活用していきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 「地域共生社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組（主なもの）

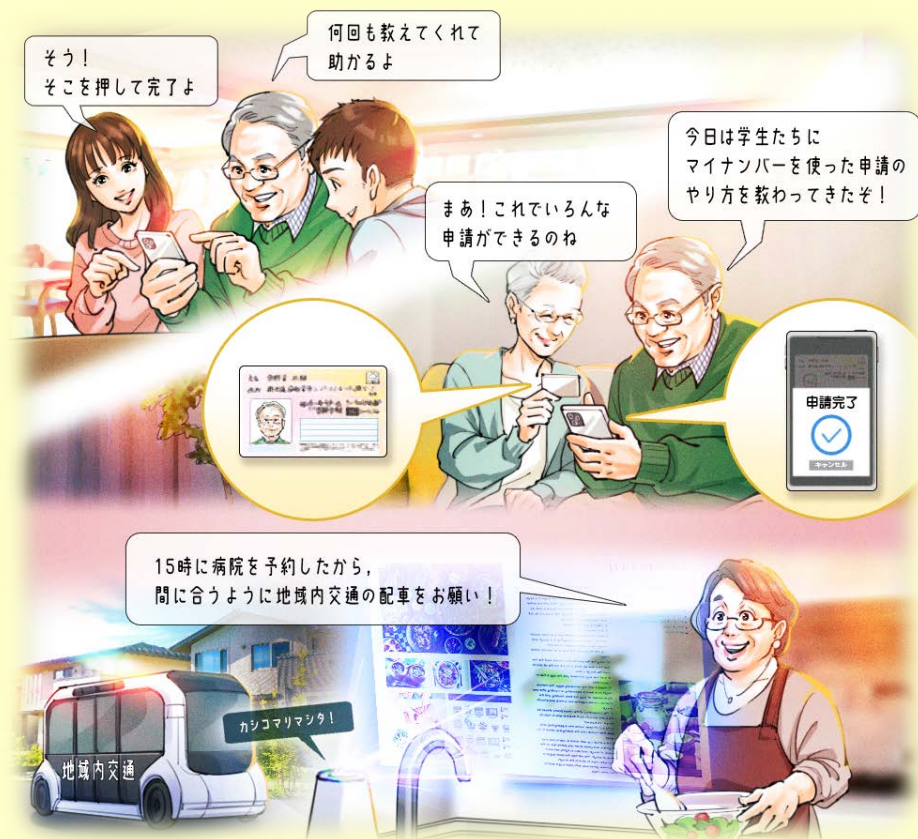
■ 支え合える社会づくり

- SNS等からのオンライン相談や個人の状況にあった情報提供など、双方向でやりとりできる取組
- オンライン空間（メタバース等）を活用した新たな「居場所」づくり など



■ デジタルに不慣れな人にも優しい社会づくり

- スマホ講座の開催など多様な主体と連携・協働した取組
- 高度な知識なくともデジタルの恩恵を受けられる環境づくり など



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組（主なもの）

■ 全ての事業者がDXを推進できる社会づくり

- 中小企業等における更なるデジタル活用を促進する取組
- 先端技術を用いた生産性向上や省力化・高品質生産につながるスマート農業 など



■ 来訪者等の利便性等が向上する社会づくり

- 観光拠点等におけるARやVR, MRなどの先進技術等を活用した臨場感等のある質の高いサービスの提供
- 生体認証技術等を活用した多様なサービス提供 など



■ 都市ブランドが高められる社会づくり

- 世界的なスポーツイベント等における5Gなど高規格通信技術を活用した取組 など



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

3 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組（主なもの）

■ 再生可能エネルギーの導入と活用が進む社会づくり

- AI等を活用したエネルギーマネジメントシステム（EMS）の構築による最適化
- 再生可能エネルギーの自家消費や地域新電力会社による地産地消の推進 など



■ エコで便利なライフスタイル等が定着する社会づくり

- LRT沿線エリアにおける脱炭素化に向けた先進技術等を活用した取組
- オンラインを通じて仕事や打合せ等ができる環境づくり など



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

4 「まちの基盤 NCC」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組（主なもの）

- 誰もが円滑に移動できる交通環境づくり
- 市民等の利便性や快適性が向上する都市基盤づくり

- 地域連携 ICカード「totra」を活用した移動・交通サービスの充実（地域独自サービスの充実）
- 観光・交通・商業等の情報を発信するデジタルツールの整備や通信環境等の充実 など



- 安全・安心に暮らすことができる都市基盤づくり

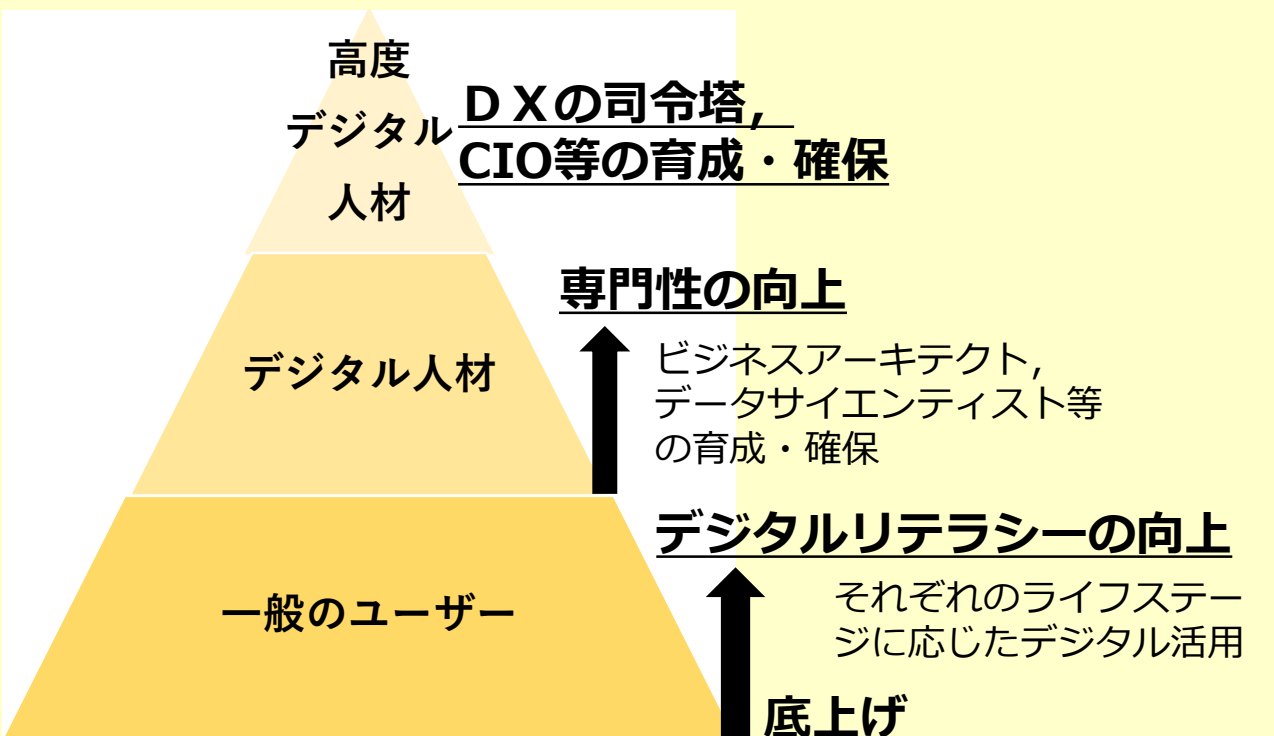
- 更なる都市機能の高度化に向けた3D都市モデルやセンシング技術等を活用した取組
- ドローン、センサー、人工衛星等の活用やAIによる分析・予測に基づくインフラ管理等の効率化及び安全対策の強化 など



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

横断・共通の取組 「デジタル人材の育成・確保」

「デジタル人材」を地域で育成するために、デジタルスキルを習得できる環境づくりや、高度デジタル人材のシェアリング等の効果的な活用に向けた仕組みづくりなど、市・事業者・大学等が連携・協力しながら、地域社会で活躍できるデジタル人材の育成・確保に取り組んでいきます。



横断的・共通の取組 「戦略的なデータの利活用」

データの利活用に当たっては、あらゆる分野における「地域課題の解決」や「新たな価値」の創出に向け、解決すべき課題や目的を明確にし、必要なデータを収集・分析・活用していくことを念頭に置いた上で、多様なデータを連携させる基盤の構築や個人情報等の取扱いルールを整備など、必要な要素を構造化した「アーキテクチャ」の構築を始め、官民が連携した戦略的なデータの利活用に取り組んでいきます。

プライバシー保護・透明性

個人情報保護に係る関係法令等を遵守し、透明性の高いルールと手続きに従い、本人同意に基づく個人情報の取得及び提供（オプトイン）など、プライバシーの確保を徹底します。

セキュリティの確保

サイバー攻撃などに対応した強固な情報セキュリティ対策を実施します。

相互運用性・オープン性

地域・システム・分野の壁を越えたデータの連携、スマートフォンアプリ等のサービスの連携・統合などにより、相互運用性を確保し、サービスの全体最適化と新たな価値の創出を図ります。



第5章 デジタル活用の方向性（柱）

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

横断・共通の取組 「デジタル人材の育成・確保」

横断的・共通の取組 「戦略的なデータの利活用」

概ね5年後までに実装を目指す取組（主なもの）

- デジタルスキルを習得できる環境づくり
- デジタルスキルが活かせる仕組みづくり

- リスキングやリカレント教育など、個人がデジタルスキルを習得できる環境づくり
- デジタル技術への次世代（小中高生）の関心を高める取組

など



- 誰もがデータを利活用できる社会づくり

- 多様なデータの取得手段の充実
- 官民のデータを連携する都市OS等の実証・導入

など



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

- デジタル化を進めていく上では、これまでの考えや実績に捉われずにチャレンジする姿勢や、試行錯誤を許容した柔軟な姿勢で取り組んでいくことが重要です。
- そして、デジタルを活用する市民の利便性の向上や課題の解決、目的の達成を第一に考え、利用者中心（人間中心）の視点でサービスをデザインしていく必要があります。

こうしたことから、「デジタル活用の基本理念」や「デジタル活用の方向性（柱）」に基づき、市民・事業者・地域活動団体・行政が各主体の役割分担の下、共通の価値観（マインド）を持ってデジタル化に取り組んでいけるよう、3つの行動規範を「基本方針（行動規範）」として定めます。

①前例にとらわれない

現状に捉われず、デジタルを効果的に活用して、既存のサービスや活動をより良くするための見直しの視点をもって取り組んでいきます。

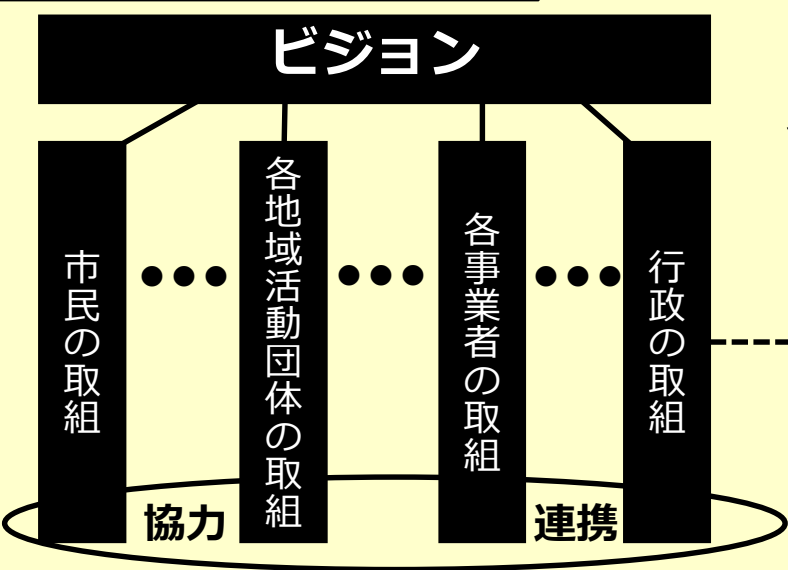
②アジャイル（迅速・柔軟）で

新しい価値創造のための失敗は、成功の通過点と考え、積極的にデジタル化に挑戦していきます。

③サービスデザインは利用者視点で

様々な利用者の利便性の向上や課題の解決、目的の達成を念頭に置き、利用者中心（人間中心）のサービスデザインを第一に考えていきます。

1 ビジョンとタスク



ビジョンで掲げる取組の実装に向け、各主体とビジョンを共有しながら、共創により取り組んでいく。

「行政（市役所）」は、ビジョンに基づき取り組むデジタル施策・事業について、「宇都宮市DX実現タスク」として取りまとめます。この「タスク」は適宜見直しを行いながら、各種取組を柔軟かつスピーディーに進め、「行政（市役所）」のDXの実現を図っていきます。

2 達成状況の把握

① DXの推進に向けた環境構築

項目	現状値 (R4)	目標値 (R9)
DXに取り組んでいると回答した市内事業者の割合	3.9%	16%
デジタル化推進に当たっての課題として、「アナログな文化・価値観が定着している」「アナログ的な長年の取引慣行に妨げられる」と回答した事業者の割合	56.1%	36%



第7章 デジタル活用の推進に向けて

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

② デジタルデバйд対策の強化

項目	現状値 (R4)	目標値 (R9)
「日々の暮らしの中で、身近な人(親など)も含め、それぞれのニーズに沿ったデジタルサービスの恩恵を享受できていると思う」と回答した市民の割合	46.8%	66%
70歳以上の市民において、「インターネットを利用していない理由として、機器の操作方法がわからない」と回答した市民の割合	64.7%	20%

③ デジタル人材の活用

項目	現状値 (R4)	目標値 (R9)
業務効率化やデータ分析に取り組んでいると回答した事業者の割合	32%	61%
宮デジサポーター養成人数	0人	120人

④ データ利活用とセキュリティ対策の強化

項目	現状値 (R4)	目標値 (R9)
本市のオープンデータ公開率	78%	100%
ウイルス対策ソフト(アプリ)を利用するなど、セキュリティ対策に気を付けている、取り組んでいると回答した市民の割合	78.7%	87%



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

3 推進体制

多様な主体の役割と主体間の連携を推進

市民・地域活動団体・事業者・行政など、多様なステークホルダー同士がシビックテックなどを通じた連携を深め、それぞれが保有する知見やデータ等を活かし、取組を推進していきます。

市民

- ・それぞれのライフスタイルやニーズにあったデジタルサービス等を効果的に活用し、便利で豊かな生活にしていきます。
- ・安全にデジタルサービス等を利用できるよう、デジタルリテラシーの向上に努めていきます。
- ・デジタルが不慣れな方には、操作方法等の支援を行うなど、身近な環境で支え合いながら、みんながデジタルの恩恵を享受できるようにしていきます。

地域活動団体

- ・地域におけるつながりの創出や活動の維持・活性化などに向け、多様な主体と協力・連携しながら、デジタル活用への第一歩を踏み出していきます。
- ・他団体等の好事例などを参考にしながら、デジタルの取組を広げていきます。

事業者

- ・事業活動等の最大化に向け、デジタルを効果的に活用していきます。
- ・デジタルに関する技術やノウハウ等を有する事業者は、多様なサービスの実装はもとより、地域課題の解決に向け、各主体と連携し、プロジェクト等をけん引していくアーキテクトの役割を担うなど、地域社会全体のデジタル化に取り組んでいきます。

行政

- ・地域課題の解決や先進技術等の活用等に向け、各主体と連携しながら、取組を積極的に推進していきます。
- ・地域の各主体がデジタル化やDXに取り組んでいけるよう、環境づくりや様々な支援等を行っていきます。
- ・地域社会における一つの主体として、行政自らのDXを強力に推進し、「スーパースマートシティ」の実現をリードしていきます。



令和5年2月発行

宇都宮市 総合政策部 スーパースマートシティ推進室

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号

TEL 028-632-2786

FAX 028-632-5426

Mail u-smart@city.utsunomiya.tochigi.jp